

文化展に出品して楽しむ

文化展開催の目的は、退職教職員・その家族が趣味で日頃制作した作品を気軽に発表し合い、仲間の作品に接して共感を分かち合うと共に交流を深めると述べられています。これならば、素人の写真でも共感していただけるのではないかと思います。出品することにしました。テーマは逗子の野鳥や草花、景色などの自然です。

これまで関心がなかったからでしょうか。住んでいる逗子の野鳥や草花の名前と姿が分かるのは数種類ほどでした。散歩しているうちに、だんだんと散歩仲間に教わったり、野鳥図鑑などで調べたりすることが増えました。久しぶりに分からないことを知る喜びを味わっています。

文化展の出品については、撮った写真の中から感動を受けた逗子の自然を取り上げました。どの写真にするか選ぶのも楽しみのひとつです。

作品の第1は、逗子湾に飛来したカワウとクロサギです。当初は不如帰(ほととぎす)の碑に止まるなど海にいたので、ウミウと思っていましたが、カワウでした。カワウとウミウは、よく似ていて撮った写真を見分けるのが難しく、いまだ詳しい知人に教えていただくことがあります。

アオサギと思い撮った写真をよく見ると違うので調べたところ、クロサギでした。クロサギは個体数が少なく珍しい種類で警戒心が強く、出会うことが少ないそうです。初めて見たクロサギの堂々とした姿にも魅せられました。

第2は、逗子の久木川にいたアオサギとボラの群れです。珍しく大きくなって遡上してきたボラの大群を目にしました。すると、アオサギがやってきてボラを次々と捕っては食べます。まさに食べ放題です。

第3は、逗子と言うと何とんでもなく逗子海岸からの景色です。日の出から日の入りまで光を浴びて変わりゆく景色は見事です。特に、くれないに染めるまっ赤な落日、幻想的なシルエットの富士山は美しく圧巻です。

第30回文化展は6月27日(金)～7月1日(火)まで開催されます。かつての同僚の多彩な作品を見ながら交流できるのが楽しみです。

